

## 平成 23 年度事業報告書

(平成 23 年 3 月 1 日から平成 24 年 2 月 29 日まで)

### ①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 111 回定期学術集会を紙上開催した。  
　　テーマ 「明日の外科を確かなものに —Reinventing Surgery for Tomorrow—」
- ・第 79 回卒後教育セミナーを紙上開催した。  
　　テーマ 「胸腹部の低侵襲（内視鏡）手術の現状」
- ・第 80 回卒後教育セミナー  
　　日時 平成 23 年 11 月 19 日  
　　場所 京王プラザホテル（東京都）参加者数 575 名  
　　テーマ 「外傷外科」
- ・第 19 回生涯教育セミナー  
　　テーマ 「機能温存手術の適応と限界」  
　　（北海道地区）  
　　日時 平成 24 年 1 月 28 日  
　　場所 札幌医科大学記念ホール（札幌市）参加者数 101 名  
　　（東北地区）  
　　日時 平成 23 年 9 月 17 日  
　　場所 盛岡地域交流センター「マリオス」（盛岡市）参加者数 110 名  
　　（関東地区）  
　　日時 平成 24 年 2 月 4 日  
　　場所 都市センター（東京都）参加者数 88 名  
　　（中部地区）  
　　日時 平成 23 年 4 月 10 日  
　　場所 愛知県医師会館（名古屋市）参加者数 159 名  
　　（近畿地区）  
　　日時 平成 23 年 6 月 18 日  
　　場所 大阪国際交流センター（大阪市）参加者数 143 名  
　　（中国四国地区）  
　　日時 平成 23 年 9 月 2 日  
　　場所 広島国際会議場（広島市）参加者数 55 名  
　　（九州地区）  
　　日時 平成 23 年 5 月 21 日  
　　場所 宮崎市民プラザ（宮崎市）参加者数 55 名

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成23年1月1日	112	1	38,000
平成23年3月15日	112	2	38,150
平成23年5月1日	112	3	38,400
平成23年5月25日	112	臨時増刊1, 2	40,000
平成23年7月1日	112	4	37,400
平成23年8月15日	112	臨時増刊3	37,650
平成23年9月1日	112	5	37,650
平成23年11月1日	112	6	37,900
平成24年1月1日	113	1	38,200
平成24年2月15日	113	臨時増刊1	38,800

- ・Official Journal「Surgery Today」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数(電子ジャーナル発行分含む)
平成23年3月1日	41	3	40,000
平成23年4月1日	41	4	40,000
平成23年5月1日	41	5	40,000
平成23年6月1日	41	6	40,000
平成23年7月1日	41	7	40,000
平成23年8月1日	41	8	40,000
平成23年9月1日	41	9	40,000
平成23年10月1日	41	10	40,000
平成23年11月1日	41	11	40,000
平成23年12月1日	41	12	40,000
平成24年1月1日	42	1	40,000
平成24年2月1日	42	2	40,000

- ・オンライン・ファーストの出版を開始した。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ドイツ外科学会、American College of Surgeons (ACS)、Society of University Surgeons (SUS)と若手外科医の交換交流を行い、International Federation of Surgical Colleges (IFSC)の加盟を継続した。
- ・日本医学会、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)、日本専門医制評価・認定機構、日本医療機能評価機構、日本女性外科医会の活動に積極的に参画した。
- ・外科系14学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。

④外科学及びこれに関する医療制度の資料の収集並びに研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン」の運用を図るため、関係団体などから意見を聴取した。

- ・外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集を行い、その結果を元に関係官庁などに要望書を提出した。
- ・「DPC 導入の影響評価に係る調査」における「留意すべき ICD コード」についての要望書を関係官庁などに提出した。
- ・基礎輸液に関する要望書を関係官庁などに提出した。
- ・日本医療安全調査機構に参加し、死因の調査分析事業に協力した。
- ・National Clinical Database (NCD) に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・「チーム医療推進会議」に協力し、特定看護師（仮称）に関する制度の創設を図った。
- ・外科医および女性外科医の労働環境についての調査収集を行い、その結果を元に労働環境を改善するよう要望した。

⑤優秀な業績の表彰（定款第4条第5号）

- ・第18回研究奨励賞を表彰した（5名）。

大北 喜基（三重大学大学院医学系研究科消化管・小児外科学）

Neutrophil Dysfunction in Steroid-overdosed Patients with Ulcerative Colitis: Potential Relevance of Macrophage Migration Inhibitory Factor to Increased Postoperative Morbidity 41: 1504-1511

藤田 知之（国立循環器病研究センター心臓血管外科）

Clinical Impact of Combined Transplantation of Autologous Skeletal Myoblasts and Bone Marrow Mononuclear Cells in Patients with Severely Deteriorated Ischemic Cardiomyopathy 41: 1029-1036

川野 大悟（九州大学大学院消化器・総合外科学）

The Influence of Intracellular EGFR Signal Activation on the Outcome of EGFR-tyrosine Kinase Inhibitor Treatment for Pulmonary Adenocarcinoma 41: 818-823

大矢 雄希（熊本大学大学院生命科学研究部小児外科学分野）

Manifestations of Transthyretin-Related Familial Amyloidotic Polyneuropathy: Long-term Follow-up of Japanese Patients after Liver Transplantation 41: 1211-1218

平崎 憲範（順天堂大学医学部附属浦安病院外科）

Development of a novel anti-adhesive material, alginate flakes, ex vivo and in vivo 41: 970-977

⑥外科学に関する研究及び調査（定款第4条第6号）

- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定した。
- ・標準手術ビデオを5本作成して、ビデオライブラーに収載した。
- ・「初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同ランダム化並行群間比較試験」を行った。（厚労科研事業）。
- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に則り、該当者から利益相反自己申告書を回収した。

⑦その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第7号）

- ・平成23年9月29日に臨時総会を招集した。

- ・次期代議員選任のための選挙を実施した。
- ・公益法人制度改革に従い、「一般社団法人日本外科学会定款」及び同施行細則を作成した後、内閣府公益認定等委員会に一般社団法人への移行認可を申請し、認可を得た。

**平成 24 年度事業計画書**  
(平成 24 年 3 月 1 日から平成 25 年 1 月 31 日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 112 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行う。

日時 平成 24 年 4 月 12 日～14 日

場所 幕張メッセ/ホテルニューオータニ幕張（千葉市）

参加予定者数 12,000 名 演題数 3,200 題

テーマ 「New Perspectives for Academic Surgical Excellence—新たなる外科学の確立—」

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 24 年 3 月 10 日	113	臨時増刊 1	38,000
平成 24 年 3 月 15 日	113	2	38,000
平成 24 年 4 月 15 日	113	臨時増刊 2	38,000
平成 24 年 5 月 1 日	113	3	38,000
平成 24 年 7 月 1 日	113	4	38,000
平成 24 年 8 月 15 日	113	臨時増刊 3	38,000
平成 24 年 9 月 1 日	113	5	38,000
平成 24 年 11 月 1 日	113	6	38,000
平成 25 年 1 月 1 日	114	1	38,000

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 24 年 3 月 1 日	42	3	40,000
平成 24 年 4 月 1 日	42	4	40,000
平成 24 年 5 月 1 日	42	5	40,000
平成 24 年 6 月 1 日	42	6	40,000
平成 24 年 7 月 1 日	42	7	40,000
平成 24 年 8 月 1 日	42	8	40,000
平成 24 年 9 月 1 日	42	9	40,000
平成 24 年 10 月 1 日	42	10	40,000
平成 24 年 11 月 1 日	42	11	40,000
平成 24 年 12 月 1 日	42	12	40,000
平成 25 年 1 月 1 日	43	1	40,000

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・ドイツ外科学会、American College of Surgeons (ACS)、Society of University Surgeons (SUS) と若手外科医の交換交流を行い、International Federation of Surgical Colleges (IFSC)

の加盟を継続する。

- ・日本医学会、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)、日本専門医制評価・認定機構、日本医療機能評価機構、日本女性外科医会の活動に積極的に参画する。
- ・外科系14学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・標準手術ビデオを5本作成して、ビデオライブラリーに収載する。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定する。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に則り、該当者から利益相反自己申告書を回収する。
- ・第9回臨床研究セミナーを下記のとおり開催する。

日時 平成24年4月14日

場所 幕張メッセ（千葉市）参加予定者数 約200名

- ・第19回研究奨励賞を表彰する（5名）。

- ・第112回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な10演題をビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給する。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第81回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。

日時 平成24年4月14日

場所 幕張メッセ（千葉市）参加予定者数 1,000名

テーマ 「臓器移植の現状」

- ・第82回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。

日時 平成24年12月1日

場所 京王プラザホテル（東京都）参加予定者数 1,000名

テーマ 「手術用医療機器の基礎と臨床—適応と限界まで—」

- ・第20回生涯教育セミナーを下記のとおり行う。

テーマ 「緩和医療」

（北海道地区）

日時 平成25年1月

場所 札幌市内 参加予定者数 100名

（東北地区）

日時 平成24年9月15日

場所 仙台市内 参加予定者数 100名

（関東地区）

日時 平成 25 年 1 月  
場所 東京都内 参加予定者数 100 名  
(中部地区)

日時 平成 24 年 6 月 3 日  
場所 長野市内 参加予定者数 100 名  
(近畿地区)

日時 平成 24 年 5 月 26 日  
場所 大阪市内 参加予定者数 100 名  
(中国四国地区)

日時 平成 24 年 9 月 14 日  
場所 米子市内 参加予定者数 100 名  
(九州地区)

日時 平成 24 年 5 月 19 日  
場所 佐賀市内 参加予定者数 100 名

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第 4 条第 8 号）

- ・ National Clinical Database (NCD) に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン」の運用を図る。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第 4 条第 9 号）

- ・ 広報活動として、第 38 回市民講座を下記のとおり行い、インターネット上で配信する。
- 日時 平成 24 年 4 月 15 日  
場所 千葉大学けやき会館（千葉市）  
テーマ 「ここでしか聞けない手術のお話し」

⑩医療政策に関する建議（定款第 4 条第 10 号）

- ・ 外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集を行い、その結果を元に関係官庁などに要望書を提出する。
- ・ 日本医療安全調査機構に参加し、死因の調査分析事業に協力する。
- ・「チーム医療推進会議」に協力し、特定看護師（仮称）に関する制度の創設を図る。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条第 11 号）